

ハルマゲドンの^{きわ}際に住む

アミール・ツアルファティ

- 私たちは本当にハルマゲドンに備えることができるのか -

https://youtu.be/0vv0Q_oh36M

ハルマゲドン。私たちの一般的な認識では、それは最も強烈で、おそらく、世界の終わりを示す、最もドラマチックなシンボルの一つでしょう。しかし、私にとってはハルマゲドンは、抽象的概念ではありません。これは私の現実です。私は文字通り、ハルマゲドンの^{きわ}際に住んでいます。これは私の家、そして、これがハルマゲドン。

「ハルマゲドンの際に住む」 (タイトル)

私は、いつも興味をそそられますが、ハルマゲドンのシンボルが、あっという間に私たちの集団心理を満たし、生存本能を刺激します。ハルマゲドンという言葉は、恐ろしい言葉です。何か壊滅的な事、人類滅亡につながりそうな事、何か、世界に終止符を打つ可能性のあるものを描写したい時、この言葉を使います。時に、「金融ハルマゲドン」。時に、「霊的ハルマゲドン」。

(アミール)：やあ、アリエル！

(アリエル)：やあ、アバ！

“ハルマゲドン”は、場所というよりも、コンセプトです。

(アミール)：コーヒーは？

(アリエル)：うん、ちょうだい。

(アミール)：おいしいよ。

(アリエル)：ありがとう。

(アミール)：ほら。

(アリエル)：ありがとう。

(アミール)：なあ、アリエル、一つ聞いていいかな。君は、イスラエル軍の戦闘兵として非常に広範な訓練を受けてきて、君の思いの中にあるすべてから、ハルマゲドンに来る兵士たちに最も重要なスキルは何だと思う？

(アリエル)：場合によりけりじゃないかな。ハルマゲドンとは何か？それを、どう定義するか？

アリエルは正しい。箴言が告げているように、「幻がなければ、民はほしいままにふるまう。」(箴言 29:18) ハルマゲドンとは何か、明確なビジョンを持つために、その過去を見れば、その将来を理解するのに役立つかもしれません。

(アミール)：今、ちょうどハルマゲドンの平野の近くに入ったよ。イズレエル平野。左からずっと右まで、この美しい平地は、およそ150平方マイル。この平野全体を、山がとり囲んでいるけれど、でも、ほぼすべての方向から、ここに続く小さな道があるんだ。ところで、だからこそ長年に渡って、だれもがこの谷を狙って来たんだよ。だれでも、この谷を支配した者は、文字通り、古代近東全体の貿易を制御した。まさにそのために、ここで見つかった古代都市のほとんどすべてに、少なくとも、居住地の層が15あったんだ。異なる時代に15回、破壊され、構築され、破壊され、再建された。理由は簡単。道路が重要である限り、都市の存在が必要だから。

私たち全員、または、少なくとも将来を懸念^{けねん}している人たちは、何かの方法で神を探し求めていると言ってよいでしょう。私たち一人一人が自分の道を選び、科学であれ、哲学であれ、自己発見であれ、宗教であれ、信仰であれ、私たちはみな、一つのシンプルな真理に対する答えを探しています。我々はいかにして生き残り、自分の存在を確保することができるか？これは、修辭的な質問ではありません。多くの世代にとってハルマゲドンの概念は基本であり、そして、多くの科学的発見の動機付け要因でした。これには学術、社会、神学的研究が含まれています。いかにして、大患難時代に適應するかを理解するため、数え切れないほどの時間と労力が注ぎ込まれてきました。

(アリエル)：うわー

(アミール)：すごいだろ？

(アリエル)：うん。

(アミール)：見てごらん。これは全部大麦だよ。

(アリエル)：いつもは、こうじゃないよね？

(アミール)：ほら、今年は最高の冬だったから、すべてが緑豊かで、生い茂っていて、見事だろ？イスラエルが、これほど緑でカラフルなのを、初めて見たよ。

(アリエル)：ほんと？

(アミール)：いたる所に花が咲いていて、死海のほとりでも花が咲いている。

(アリエル)：へえ

(アミール)：なかなか見事だろ？

(アリエル)：めずらしいね。

(アミール)：アリエル、面白いのは、とても静かで、とても穏やかで、本当に美しく、まるで嵐の前の静けさのように感じる。私たちが今生きている時代は、こうして話している間にも歴史が記されているんだ。

(アリエル)：じゃあ、もっと悪くなる？

(アミール)：まあ、まさにこの場所で起こる出来事につながる状況は、今日見ているものよりも、はるかに悪くなる。

(アリエル)：そうか。

(アミール)：メギドは、旧約聖書で12回言及され、新約聖書では1回しか言及されていない。でも、このたった一度の言及が、その意味を永遠に変えたんだ。私たちのすぐ後ろ、これが、この場所全体の名前、ハルマゲドンの理由だよ。

(アリエル)：ハルマゲドン？

(アミール)：“ハルマゲドン”はギリシャ語で、ヘブル語では、“ハル・メギド”「メギドの丘」。これは、自然の丘ではなくて、建設されては破壊され、再建されては破壊されて来た、少なくとも20の異なる都市の破片の山なんだ。

(アリエル)：ウォ！

(アミール)：ダビデ王について言えば、彼がこの場所に来たとき、彼は16番目の層だった。イエスがナザレで育ったのは知ってるね？本当に、文字通り、ここから5マイル（約8km）離れた所。

(アリエル)：ああ。

(アミール)：面白いのは、私たちは、イエスの時代を古代と考えがちだけど、しかし、イエスもすでに観光客として、この場所を訪問していたかもしれないんだ。彼の時代には、すでに廃墟になっていたから。この場所は、それだけ古いんだよ。1799年、ナポレオンがここにおいて、彼は、見おろして言ったんだ。「世界中から軍隊を集めるのに、ここは最適な場所だ」この谷が、いかに広大であるかを見てごらん。これほど多くの戦いを経験した谷は、世界中で、他にないと思うよ。特に、黙示録が書かれた後、すべての王とすべての支配者は、世界の終わりの最大の戦いに勝って、英雄になることを望んだんだ。でも、それには問題がある。全体的に間違っているからね。

いっしょに黙示録を見てみよう。これは、“ハルマゲドン”という言葉が出て来る唯一の書だよ。黙示録。

(アリエル)：どこ？

(アミール)：第16章。

『こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。』（黙示録16章16節）

これが、人々の認識、彼らが恐れているもので、これを彼らは映画にし、本に書いて、彼らは、これが世界の終わりだと思っている。しかし実際には、これは単なる集合場所で、それ以上ではない。

もし上に飛んで、イスラエル全体を一つの体として見れば、最も重要で、最も必要不可欠な部分は何だと思う？

(アリエル)：エルサレム。

(アミール)：そう。聖書に書かれている、イスラエルの最終的で最も生存に関わる戦いについて読んでみれば、それは、その中心での戦いであって、実際のハルマゲドンがある場所ではない。

確かに、過去にはここで非常に多くの戦いがあった。確かに、過去にはここで大きな嘆きと哀願があった。しかし将来は、エルサレムがすべてで、戦いはエルサレムで行われる。そして、エルサレムでの嘆きによって、かつて、ここで聞いた、嘆き悲しみを人々は思い出す。

黙示録の中でも、彼がハルマゲドンについて話すとき、2節ほど後には、カメラは、はるかエルサレムに移る。ヨエル書が告げている。

『私はすべての国民を集め 彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで彼らをさばく。諸国の民は起き上がり、ヨシャパテの谷に上って来い。わたしが、そこで、回りのすべての国々をさばくために、さばきの座に着くからだ。』

ヨシャパテの谷は、今日のキドロ川渓谷、そして、ヨシャパテの意味は、「神は裁く」。間違いなく、裁きの場だ。

君は今朝、尋ねたね？「ハルマゲドンとは何？」ハルマゲドンは全て、人々の思考の中にあって、^{こんにち}今日、多くの人々が、恐怖と不安の中で生きているんだ。「もう、これで終わりだ！」と考えているから。「ハルマゲドンで戦争が起こる！」

(アリエル)：終わりが近づいている。

(アミール)：「ここで終わる！」でも現実には、彼らが探し求め、希望し、祈り、従うべきなのは神であって、生人物語の偉大で英雄的なシンボルじゃない。

私は子どもたちを、とても愛しています。だから、世の終わりについての会話は、本当に心が重くなるのです。アリエルにとって、それが、どれほど難しいか、私には想像することしかできません。私は、彼が幸せになることを願っています。しかし、私はまた、彼に困難に対処するためのツール（道具）を与え、そして、私たち全員を保っている、最大の秘密を彼に明らかにする必要があります。私は、彼にこう伝えまします。神への信仰は、強制されるものではなく、君の選択だ。真の信仰は、ただ単に宗教的な律法や古代の物語を与えるのではなく、真の信仰は、君の人生のツールボックスにある、神から与えられた、不可欠で実用的な道具だ。それは、私たちが本当に重要なことに集中するのに役立つ。神を呼び求めることで、私たちの心の人間性が定義されます。なぜなら、神が私たちの最終的な答えなら、私たちの生存と幸福は、神にかかっていますから。

信仰によって歩む (第2コリント5章7節)



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.04.29 (Wed)